

学生と教員の見方



【アピールポイント】
明海大学4年生、趣味は筋トレで毎日3回のプロテインが楽しみです。今日も大きくなるために頑張ります。

自分で地図を作成できる点が特徴だ。

地価と災害リスクを同時に地図上で確認すると、「地価が安い場所にはどのような理由があるのか」、「同じ家賃帯でも安全性に差があるのではなか

現在、賃貸仲介のアルバイトをしているが、家賃だの信頼性を高め、より納得感のある住まい選びにつなげたく、「安全性」や「周辺環境」を気にするお客様が増えていることを実感している。QGISのような不動産業界にとって重要なGISソフトを使えば、感

を含めた総合的な判断の重要性を示している。なかでも、QGISとオープンデータを活用してオリジナル地図を自作することは、不動産業者における物件調査資料の作成業務を、より高度なものへと進化させる可能性を持つ。

一方、QGISの操作には一定の専門知識が必要であり、一般ユーザーが容易に扱えるとは言い難い。国土交通省が公開しているマ

QGISは、世界中のポランティアによって開発・改良が続けられているフリーオープンソースのGISソフトであり、無償で自由に利用できる点、軽量かつ高機能である点が大きな特徴である。

国土数値情報などの多様なオープンデータを柔軟に扱えるため、専門家だけでなく実務者にとっても有用性が高い。不動産業界では、既存の地図の多くが著作権の制約により営利目的での利用が制限されるケースが多

一方、QGISの操作には一定の専門知識が必要であり、一般ユーザーが容易に扱えるとは言い難い。国土交通省が公開しているマニ

ニアルは有用であるが、実務に結び付けるには継続的な学習の場が不可欠である。今後は、不動産業界団体や教育機関が中心となり、研修会や勉強会、リスクリ

ングの取り組みを通じてGIS活用を普及させることが求められる。データを正しく読み解き、それを分かつ

これからの不動産業界における重要な専門性となるであろう。

多くの、物件調査資料の作成

ある。

ある。

ある。

ある。

ある。

ある。

ある。

ある。

ある。

不動産DX③

GISはフリーの地理情報システム(GIS)ソフトで、さまざまなデータを地図上で重ねて表示・分析することができる。国土数値情報ダウンロードサイトなどから、地価公示・地価調査・高潮や浸水、土砂災害といったデータを取得し、

まちのリスク“見える化” GIS活用 of 住まい提案

直感的に理解できる。

一方で課題もある。QGISは非常に高機能だが、操作方法を学ぶ必要がある。誰でもすぐに使えるわけではない。一般の消費者や不動産事業者にとって、導入のハードルが高いのが現状だ。

【教員の展開】(麻剣英講師)

従来の住まい選びは、家賃や間取りといった表面的な条件に偏りがちだった。

それに對し、地価と災害リスクなどを重ね合わせて捉える視点、生活の安全性

オープンデータとGIS

える視点は、生活の安全性

オープンデータとGIS

える視点は、生活の安全性